

組合回覧

平成17年8月9日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 竜丘地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年7月5日(火) 19:00～21:30

場所 竜丘公民館

参加 検討委員25名、コーディネーター他

当日は、竜丘の地域づくりにいろいろとかかわっていただいている吉田先生(株宅地開発研究所)をコーディネーターに、竜丘地区から選出された検討委員の皆さんが4つのグループに分かれ、竜丘地区の現状について議論しました(各グループから出た主な意見は3～4ページのとおり)。今後も検討委員の皆さんによるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



皆さんが日頃思っている意見を書きました



グループごとに発表を行いました



様々な意見がでました



第2回のまち歩き希望箇所を地図に貼りました

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 竜丘地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、28名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

第1回 竜丘地区懇談会で出た主な意見

竜丘地区の現状は？

生活、公共・福祉サービス

よいところ・宝

- 気候が温暖で住みやすい、雪が少なく降ってもすぐ融けてしまう
- 国道151号沿いの生活環境は利便性高く、交通の便は良い 嶋地区は道路がとても良くなってきた
- 電車・バスが通っていて利用できる
- 買物には店が近くほとんどのものが間に合う
- 高齢者施設が最近充実してきた
- 中部デ-サービス・輝山会病院・サンヒルズがある
- 生涯学習センター(公民館)がある
- 公民館活動に積極的
- 歴史・文化・風土が根付いている

課題

- 大人のマナーが悪い(不法投棄)
- 自分達の住んでいる道路・井水の手入れ・清掃をしなくなった。昔は義務でやった
- 歩いて買物が出来ない(小さな店の衰退)
- 時又の店が少なくなってきて困っています
- 交通網が未整備(長野原～支所への道は最悪)
- 袋状道路が増えて防災的に問題がある
- 長野原と桐林・長野原と時又を繋ぐ道が悪い
- 朝の通勤車及び交通量が多い
- 通学路が良くない(狭あい道路、袋状道路)
- 高齢者には交通が不便
- バスの便数がまるで少ない(特に国道151号)
- 電車のダイヤが少なく、利用できない
- 子供の遊び場が少ない(長野原)
- 青年たちの交流の場がもっとあると良い
- 地域内の格差、人口のかたよ
- 少子化に歯止めがかからない
- 高齢化により、労力奉仕が困る
- 宅地開発が進み、道路・水路の整備が追いつかない 開発と保全が表裏一体
- 開発が進みすぎている パ-トが多くなり過ぎた
- 急激な人口増加で地域のコミュニケーションが薄くなってきている(組合未加入など)
- 公共施設の不足(運動場)

商業・工業

よいところ・宝

- 工業が集積している(ものづくり工場)
- 環境と調和した環境産業公園がある
- 周りに迷惑をかける工場は少ない
- あらゆる商店がそろっている

課題

- 昔からの商店が少なくなり、寂しい
- 時又・長野原・上川路に商店がない
- 商店後継者がいない。空き店舗(特に時又)目立つ
- パチンコ屋が3店もある

拠点・その他

よいところ・宝

- 自ら地域を拓こうという風土がある
- アパート経営が成立つ地域
- 地域のへそ

農業

よいところ・宝

- 地形に変化があり、それぞれそれなりの作物が作られている 多様な農産物が栽培できる
- 用水路が隅々まで流れていて、先人の努力が学べる 水の便が良く農業がやりやすい
- 消費人口が多くなり、地産地消で野菜がよく売れる 直売コーナーがある
- 農地が多く住宅が連たんしており、住環境が良い
- 住宅地域の中にも農地が残っている

課題

- 農地がどんどん無秩序に宅地化している
- 荒廃農地が目立ってきている 農業等産業が細分化されて小さくなってしまった
- 農地と宅地が混在して、農作業がやりにくい。また、陰地ができて生産性が悪い
- 農業後継者がいない 農家が明るい希望を持って生きていない方が多いようだ
- 竜西一貫水路の将来が心配
- 農業をやっている人々の中で、井水・水の管理が出来なくなった
- 何でも栽培可能であるが、特化品がない
- 正史に残る(献上品など)農作物、畜産がない(一部茶がある?)

自然環境・歴史・文化

よいところ・宝

- 桜咲く万寿山・鈴岡公園
- 自然(山・川・農地)が豊かに残っている
- ギフチョウの森がある
- 天竜川・久米川・白井川秘境
- 山紫水明、天竜川の景観は昔から変わらない
- 白井原と360度の展望(アルプスも含めて)
- 小学校から風越山が見えて良い
- 治水事業により水辺環境が良くなった
- 生活の中に水辺がある(地域・農地・コミュニティとして)
- 寺社・古墳・城跡などの文化財が多い
- 文化歴史を大切にしている 自由画教育の歴史と作品が大切にされている
- 伝統行事の初午、灯籠流しの祭りが続いている
- 傾斜地の一部を除いて、災害(水害)の少ない地域

課題

- 水(自然の川)に恵まれていない
- 天竜川の汚れ(メダカ・カジカ・ドジョウがいなくなった)・蛍が飛ばなくなった
- 山林の荒廃
- 道路沿いの看板が乱立(桐林・駄科)
- 自然で遊ぶ所がない
- 文化財の案内板がない

将来

竜丘地区はこうなってほしい・こうなってほしくない

(次のページへ)

将来は

生活・公共・福祉サービス

こうなってほしい・こうなってほしくない

- 幹線道路（国道）にスムーズに入れる
 - 交通規制のある道路の設定
 - バイク付電動自転車（カーター等）等が通れるような歩道整備して欲しい
 - 河川一斉清掃の日に、日陰道路の整備をしよう
 - 公共バスが長野原の中心を通るようにして欲しい
 - 歩いていける範囲に日用品のお店が欲しい
 - 時又・長野原に生活物品を販売する巡回車を
 - 地区に住むのに、組合加入を条件にしてはどうか
 - 集落(区等)が生活基盤となる地区であって欲しい
 - 若者のコミュニティーへの参画
 - お年寄りが気楽に集えるコミュニティー作り
 - 住宅の周り、エコクリートの塀でなく生垣としたい
 - エコハウジングビレッジへ住宅を重点誘導し、地域づくりの拠点にする
 - 開発行為を行うときは、秩序ある開発を
 - 老人ホーム・地域内に気楽にかかれる病院を
 - 公園・小スポーツ施設が身近に欲しい
 - 親水公園を作って欲しい
 - 住民の集える建物が欲しい
 - 子供を育てやすい施策、施設を(少子化に歯止め)
 - 工業福祉大学の設置
 - 税金を安くして生活を守る
 - ▲ 住居の空洞化がなされないように
 - ▲ 住宅・アパートは増やしたくない
 - ▲ 公共交通が廃止されないように
 - ▲ 車の騒音と排ガスだらけになって欲しくない
 - ▲ ただ道路を拡幅すれば良いと思わない。通過車輛による事故が増えないようにして欲しい
 - ▲ 人口増加の抑制・家族制度の崩壊
- 少し広域で竜丘地区を見て
- 天竜峡ロープウェイのサイクリングロードが欲しい
 - 松尾城址公園と鈴岡公園の一体化

商業・工業

- 時又商店街が活性化できると良い
- 嶋地区に商店が来てもらいたい
- 地産地消の商業 地域に還元できる産業
- 公害が発生しないように、環境を重視した地域でありたい
- エコバレープロジェクトの早期実現
- 臼井原の開発（市役所・ヘリポート・その他）大型店は要らない。地域の産業を壊す

農業

- 事前調整機能を発揮(宅地開発) バランスの良い「住」との共存
- 遊休農地を活用出来るような方策を考える
- 環境保全型の農業・地産地消農業・農業で生活出来るように
- 本気の農業者への市特別補助事業
- 農業をやりたい人が始めやすい施策・法律
- 高齢者もゲートボールより農作業を
- 観光と農業、うまく結べないか 教育としての農業ある地域
- 農業用道路の整備・桐林上段に水路が欲しい 農地の虫食い

自然環境・歴史・文化

- 子供達が安心して遊べる里山が欲しい 財産区有林は林業の経営でなく、住民の増健や憩いの場として整備する
- 蛍の棲める小川が再現出来ると良い 水辺や花のある地域
- 下水道の加入率を上げ、川を汚れないようにしたい
- 臼井の秘境は360度パノラマ状態で素晴らしいので残したい
- 文化財が点在しているので、新たに繋げる道が欲しい
- 文化財等歴史的価値のあるものを後世に伝え、他地区にもPRを
- 竜丘の古墳を活かした里作り
- いつまでも自然・文化を大切にすることを伝える
- 天竜川や史跡を活かした観光を発展させたい
- もっと体験学習の出来る環境創り
ポイ捨て、ゴミ不法投棄対策
風俗産業に来て欲しくない

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 平成17年8月21日(日) 8:00~12:00

場所 竜丘公民館

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出されたよいところ・課題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話合います

検討委員の公募について

竜丘地区の方で、今後地区懇談会への参加を希望される方は、8月19日(金)までに下記へご連絡下さい。

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください。

飯田市役所

〒395-8501

飯田市大久保町2534

22-4511 Fax 53-4511

E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局

連絡先 企画課 担当：西 内線 2223

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、飯田市ホームページでもご覧になれます
ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」